

## 7. HDL コレステロールと心臓血管病

金沢大学附属病院循環器内科 助教

多田 隼人

同 循環器内科 特任助教

野村 章洋

同 循環器内科 名誉教授

山岸 正和

同 循環器内科 准教授

川尻 剛照

### [Summary]

HDL コレステロール値は、心臓血管病と逆相関は認められるものの、動脈硬化の発症や進展との直接的な因果関係については種々の薬剤を用いた介入試験(ランダム化比較試験)やメンデルランダム化研究により否定的な見解となりつつある。一方でHDL コレステロール値というよりも、HDL 粒子の機能に着目した研究が進められつつあり、HDL と心臓血管病との関連については量より質へとシフトしている。

### はじめに

HDL コレステロール値と心臓血管病については古くより、主に疫学研究結果から逆相関関係にあることが判っていた<sup>1)</sup>。この関係はLDL コレステロール値と心臓血管病との関係と真逆であり、心臓血管病治療・予防目的にLDL コレステロール低下療法の発展と並行し、HDL コレステロール増加療法の開発が行われてきた。しかし、HDL コレステロール増加療法を伴う近年の大規模ランダム化比較試験では期待されたベネフィットが得られなかったほか、メンデルランダム化研究からもHDL コレステロール値そのものは、心臓血管病との直接の関連はなさそうである。一方で、HDL 粒子のコレステロール引き抜き能は心臓血管病との関連が示唆されており、今後HDL 粒子の機能に注目した研究が発展し、臨床応用されることを期待したい。

### 極端な症例から学ぶ

LDL コレステロール値と心臓血管病との関連は、極端な症例としての家族性高コレステロール血症が早発性冠動脈硬化症を呈することから理解しやすい。では、一方でHDL コレステロール値が極端に高い症例、低い症例では心臓血管病は少ない、あるいは多いのであろうか？ 筆者

### Key Words:

HDL コレステロール □メンデルランダム化研究 □ランダム化比較試験 □HDL 機能